

令和 7 年 1 1 月 1 9 日

交 通 事 故 概 況

令和 7 年 10 月 末 計 上 数 (確 定 数)

警 察 本 部 交 通 部 交 通 企 画 課

北海道の交通事故概況（10月末計上数（確定数））

1 令和7年10月末の交通事故発生状況

区分\内容	10月中	前年比	10月末	前年比
発生件数（件）	857	45	6,792	-351
死者数（人）	13	9	103	18
傷者数（人）	986	38	7,881	-569

[過去10年、10月中10月末の推移]

区分\年 別	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	過去平均		R7年
											10か年	5か年	
10月中死者数	19	19	16	10	21	11	12	13	15	4	14	11	13
10月末死者数	151	122	122	114	125	115	95	96	104	85	113	99	103
年間死者数	177	158	148	141	152	144	120	115	131	104	139	123	

都道府県別（10月中）

順位	1	2	3	4	5
都道府県名	東京	神奈川	北海道	埼玉	大阪
死者数	15	14	13	11	10

都道府県別（10月末）

順位	1	2	3	4
都道府県名	東京	神奈川	北海道	大阪
死者数	114	109	103	96

2 交通死亡事故の発生状況（主なもの）

(1) 10月中の死亡事故（死者13人）

- 事故類型別：人対車両が5人（38.5%）、車両単独が4人（30.8%）
- 道路別：道道、市町村道が各々5人（38.5%）、国道が3人（23.1%）
- 地形・道路形状別：市街地交差点が5人（38.5%）、市街地直線が4人（30.8%）
- 発生時間別：22～24時が3人（23.1%）、0～2時、8～10時、20～22時が各々2人（15.4%）
- 第一当事者年齢別（第一当事者原付以上）：50歳代運転手による死者が4人（30.8%）、高齢運転者による死者が2人（15.4%）
- 第一当事者違反別（第一当事者原付以上）：前方不注意が3人（23.1%）、操作不適が2人（15.4%）
- 死者年齢別：高齢者の死者が5人（38.5%）、40歳代、50歳代の死者が各々2人（15.4%）

(2) 10月末の死亡事故（死者103人）

- 事故類型別：
 - ・ 車両単独が39人37.9%（うち操作不適が18人46.2%、前方不注意が13人33.3%）
 - ・ 人対車両が24人23.3%（うち前方不注意が10人41.7%、歩行者妨害が6人25.0%）
- 道路別：
 - ・ 国道が40人38.8%（うち車両単独が13人32.5%、正面衝突が12人30.0%）
 - ・ 道道が27人26.2%（うち車両単独が9人33.3%、人対車両が8人29.6%）
 - ・ 市町村道が26人25.2%（うち人対車両、車両単独が各々8人30.8%）
- 地形・道路形状別：
 - ・ 市街地交差点が28人27.2%（うち人対車両が11人39.3%、自転車対車、出会い頭が各々5人17.9%）
 - ・ 非市街地直線が22人21.4%（うち車両単独が12人54.5%、正面衝突が7人31.8%）
- 発生時間別：
 - ・ 8～10時が16人15.5%（うち出会い頭が5人31.3%、正面衝突が4人25.0%）
 - ・ 16～18時が13人12.6%（うち車両単独が4人30.8%、正面衝突が3人23.1%）
- 第一当事者年齢別：
 - ・ 高齢運転者による死者が35人34.0%（うち車両単独18人51.4%、正面衝突が7人20.0%）
 - ・ 50歳代運転者による死者が22人21.4%（うち車両単独が6人27.3%、出会い頭が5人22.7%）
- 第一当事者違反別（第一当事者原付以上）：
 - ・ 前方不注意が32人31.1%（うち車両単独が13人40.6%、人対車両が10人31.3%）
 - ・ 操作不適が25人24.3%（車両単独が18人72.0%、正面衝突が6人24.0%）
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が53人51.5%（うち車両単独が19人35.8%、人対車両が15人28.3%）
 - ・ 50歳代の死者が16人15.5%（うち車両単独が7人43.8%、正面衝突が4人25.0%）
- シートベルト非着用者：
 - 自動車（二輪を除く）乗車中の死者49人中、シートベルト非着用者は22人（44.9%）であり、そのうち15人（68.2%）はシートベルトをしていれば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

10月中の死者数は札幌方面が8人(61.5%)、北見方面が2人(15.4%)、函館方面、旭川方面、北見方面が各々1人(7.7%)となっている。

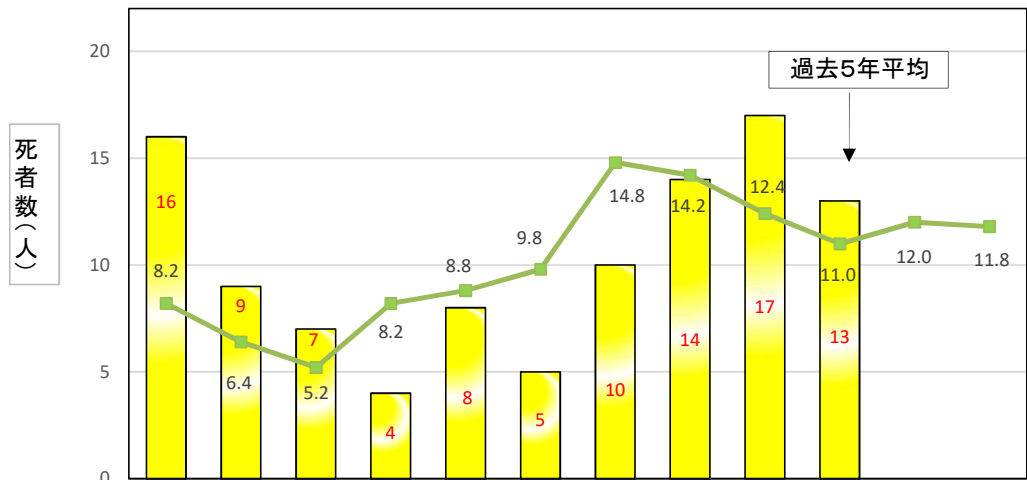
10月末の死者数は札幌方面が51人(49.5%)、釧路方面が22人(21.4%)、北見方面が14人(13.6%)、旭川方面が10人(9.7%)、函館方面が6人(5.8%)となっている。

方面別\区分		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
10月中	全道	857	45	13	9	986	38
	札幌方面	634	54	8	6	716	44
	函館方面	59	9	1	1	78	13
	旭川方面	70	-6	1	-1	80	-8
	釧路方面	66	-15	1	1	82	-7
	北見方面	28	3	2	2	30	-4
方面別\区分		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
10月末	全道	6,792	-351	103	18	7,881	-569
	札幌方面	4,952	-314	51	7	5,727	-532
	函館方面	489	46	6	2	606	65
	旭川方面	595	-12	10	-3	686	-28
	釧路方面	562	-88	22	5	643	-77
	北見方面	194	17	14	7	219	3

(4) 月別発生状況の推移

10月中の死者数は13人で過去5年平均11.0人を上回っている。

10月末の死者数は103人で過去5年平均99.0人を上回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和7年	16	9	7	4	8	5	10	14	17	13			103
年間累計	16	25	32	36	44	49	59	73	90	103			
過去5年平均	8.2	6.4	5.2	8.2	8.8	9.8	14.8	14.2	12.4	11.0	12.0	11.8	122.8
累計平均	8.2	14.6	19.8	28.0	36.8	46.6	61.4	75.6	88.0	99.0	111.0	122.8	

(5) 都道府県別死者数

10月中は東京都が15人で最も多く、次いで神奈川県が14人、北海道は13人で3位となっている。

10月末は東京都が114人で最も多く、次いで神奈川県109人、北海道が103人で3位でとなっている。

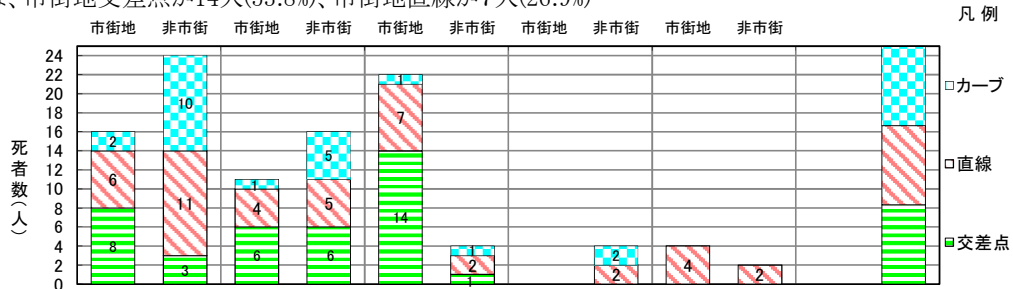
区分\都道府県	東京	神奈川	北海道	埼玉	大阪	千葉	福岡	鹿児島	茨城	三重	全国
10月中死者数	15	14	13	11	10	9	9	9	8	7	227
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	6	6	9	10	—
前年比	2	3	9	2	1	-1	4	4	-3	3	-25
増減率(%)	15.4	27.3	225.0	22.2	11.1	-10.0	80.0	80.0	-27.3	75.0	-9.9

区分\都道府県	東京	神奈川	北海道	大阪	千葉	埼玉	愛知	兵庫	福岡	茨城	全国
10月末死者数	114	109	103	96	96	87	84	76	69	62	2,005
ワースト順位	1	2	3	4	4	6	7	8	9	10	—
前年比	-2	20	18	-1	-12	3	-31	-10	-6	-14	-123
増減率(%)	-1.7	22.5	21.2	-1.0	-11.1	3.6	-27.0	-11.6	-8.0	-18.4	-5.8

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

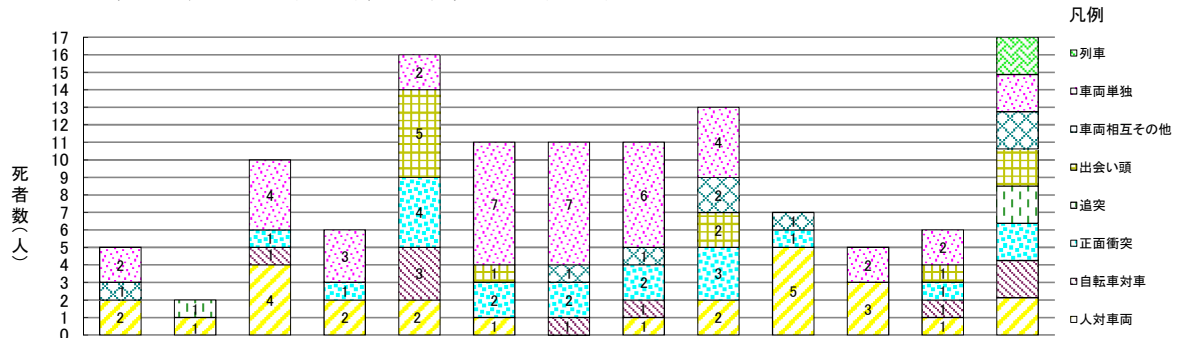
- 国道が40人(38.8%)、道道が27人(26.2%)、市町村道が26人(25.2%)。
- ・ 国道は、非市街地直線が11人(27.5%)、非市街地カーブが10人(25.0%)
 - ・ 道道は、市街地交差点、非市街地交差点が各々6人(22.2%)
 - ・ 市町村道は、市街地交差点が14人(53.8%)、市街地直線が7人(26.9%)



区分\道路別	国 道	道 道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死 者 数	40	27	26	4	6	103
構 成 率 (%)	38.8	26.2	25.2	3.9	5.8	100.0
過去5年構成率	40.4	21.8	30.1	2.0	5.7	100.0

(2) 時間別

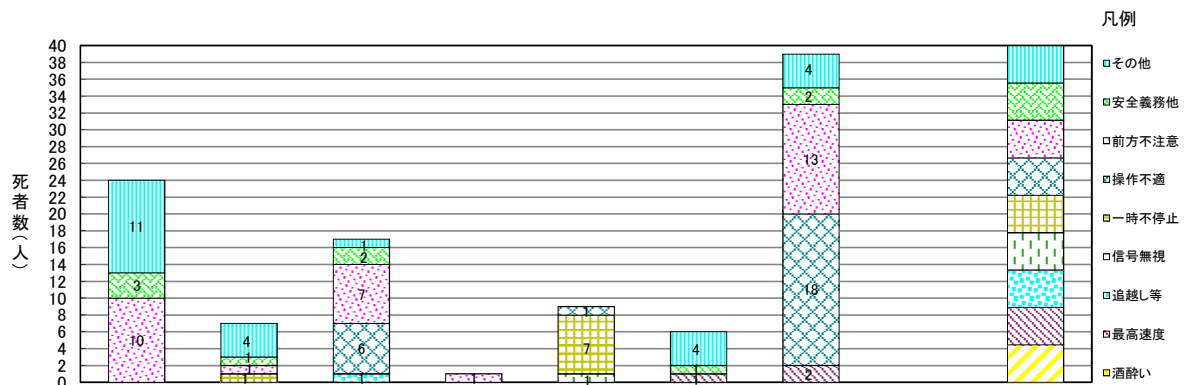
- 8～10時が16人(15.5%)、16～18時が13人(12.6%)となっている。
- ・ 8～10時は、出会い頭が5人(31.3%)、正面衝突が4人(25.0%)
 - ・ 16～18時は、車両単独が4人(30.8%)、正面衝突が3人(23.1%)



区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死 者 数	5	2	10	6	16	11	11	11	13	7	5	6	103
構 成 率 (%)	4.9	1.9	9.7	5.8	15.5	10.7	10.7	10.7	12.6	6.8	4.9	5.8	100.0
過去5年構成率	3.8	2.4	4.0	7.5	10.7	15.6	13.5	13.9	8.3	8.5	6.7	5.1	100.0

(3) 事故類型別

- 車両単独が39人(37.9%)、人対車両が24人(23.3%)、正面衝突が17人(16.5%)となっている。
- ・ 車両単独は、操作不適が18人(46.2%)、前方不注意が13人(33.3%)
 - ・ 人対車両は、その他(歩行者妨害が含まれる)が11人(45.8%)、前方不注意が10人(41.7%)



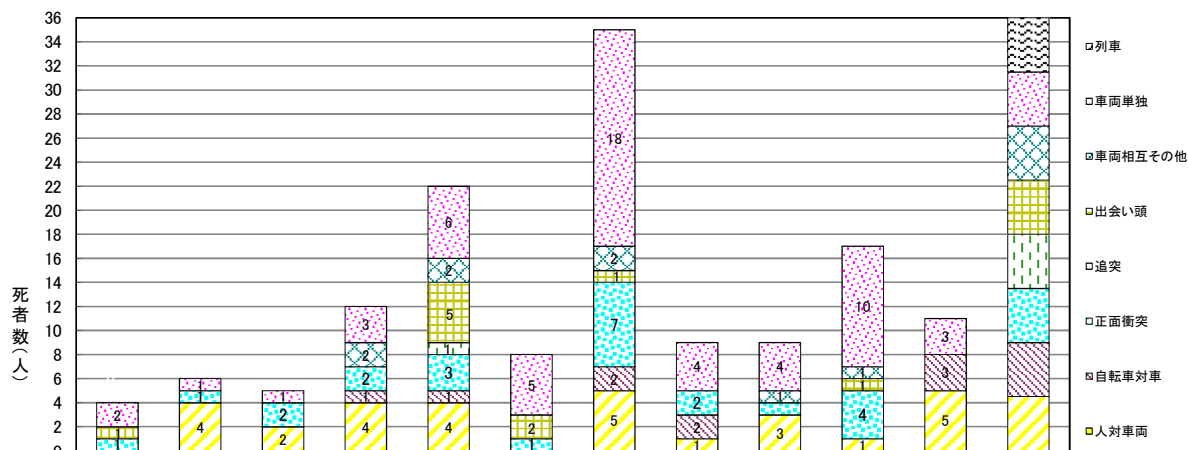
区分\事故類型別	人対車両	自転車対車	正面衝突	追 突	出会い頭	その他	車両単独	列 車	計
死 者 数	24	7	17	1	9	6	39		103
構 成 率 (%)	23.3	6.8	16.5	1.0	8.7	5.8	37.9		100.0
過去5年構成率	28.5	5.5	19.2	2.2	8.9	3.2	32.1	0.4	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別(第一当事者原付以上):

高齢運転者が35人(34.0%)、50歳代の運転者が22人(21.4%)となっている。

- ・ 高齢運転者は、車両単独が18人(51.4%)、正面衝突が7人(20.0%)
- ・ 50歳代の運転者は、車両単独が6人(27.3%)、正面衝突が5人(22.7%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	4	6	5	12	22	8	35	9	9	17	11	103
構成率(%)	3.9	5.8	4.9	11.7	21.4	7.8	34.0	8.7	8.7	16.5	10.7	100.0
過去5年構成率	10.1	3.2	7.5	16.6	14.7	8.9	34.1	10.7	8.5	14.9	4.8	100.0

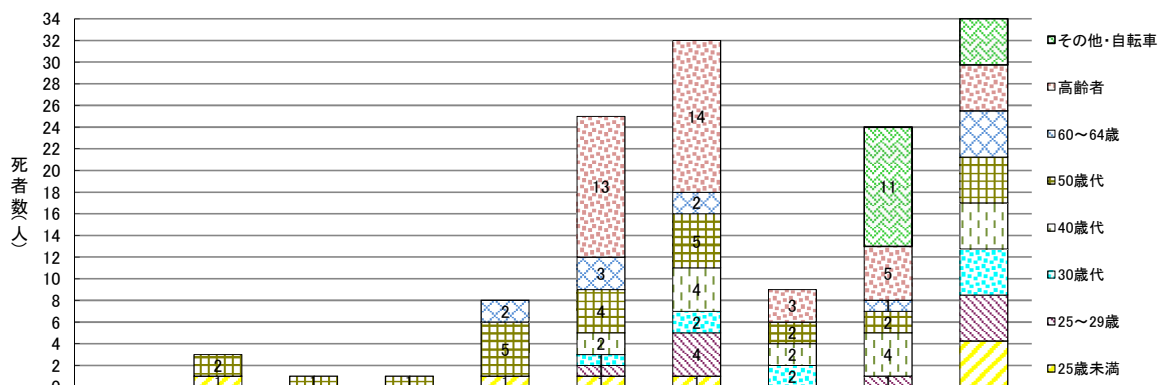
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反

前方不注意によるものが32人(31.1%)、次いで操作不適によるものが25人(24.3%)となっている。

- ・ 前方不注意は、高齢運転者による死者が14人(43.8%)、50歳代運転者による死者が5人(15.6%)
- ・ 操作不適は、高齢運転者による死者が13人(52.0%)、50歳代の運転者による死者が4人(16.0%)

凡例



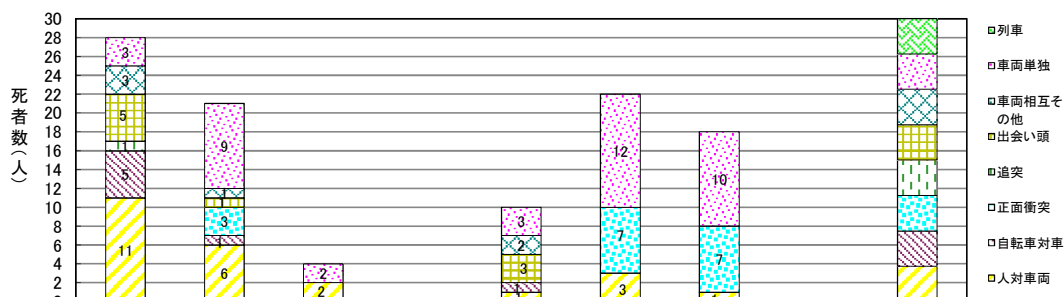
区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数		3	1	1	8	25	32	9	24	103
構成率(%)		2.9	1.0	1.0	7.8	24.3	31.1	8.7	23.3	100.0
過去5年構成率	1.6	12.9	2.4	4.0	4.4	9.3	33.1	11.5	20.6	100.0

(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が28人(27.2%)、非市街地直線が22人(21.4%)となっている。

- ・ 市街地交差点は、人対車両が11人(39.3%)、自転車対車、出会い頭が各々5人(17.9%)
- ・ 非市街地直線は、車両単独が12人(54.5%)、正面衝突が7人(31.8%)

凡例

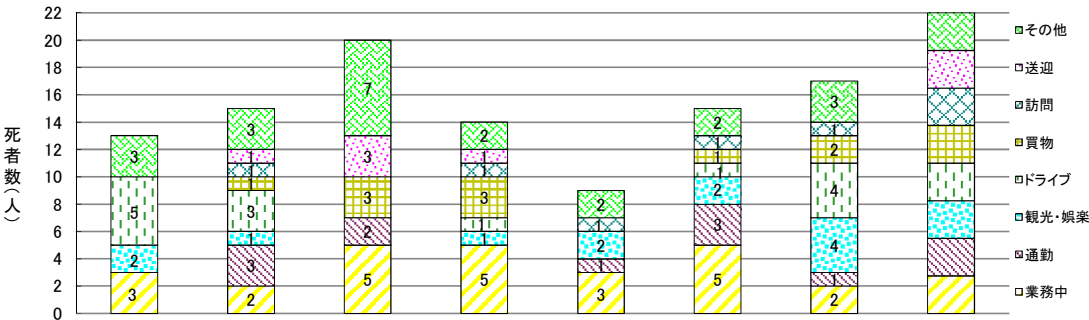


地形道路形状別	市街地				非市街地				計
区分\	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	28	21	4	53	10	22	18	50	103
構成率(%)	27.2	20.4	3.9	51.5	9.7	21.4	17.5	48.5	100.0
過去5年構成率	30.3	14.7	4.8	49.9	6.3	21.8	22.0	50.1	100.0

(7) 曜日別

- 火曜日が20人(19.4%)、土曜日が17人(16.5%)となっている。
- ・ 火曜日は、業務中が5人(25.0%)、買物、送迎が各々3人(15.0%)
 - ・ 土曜日は、観光・娯楽、ドライブが各々4人(23.5%)

凡例



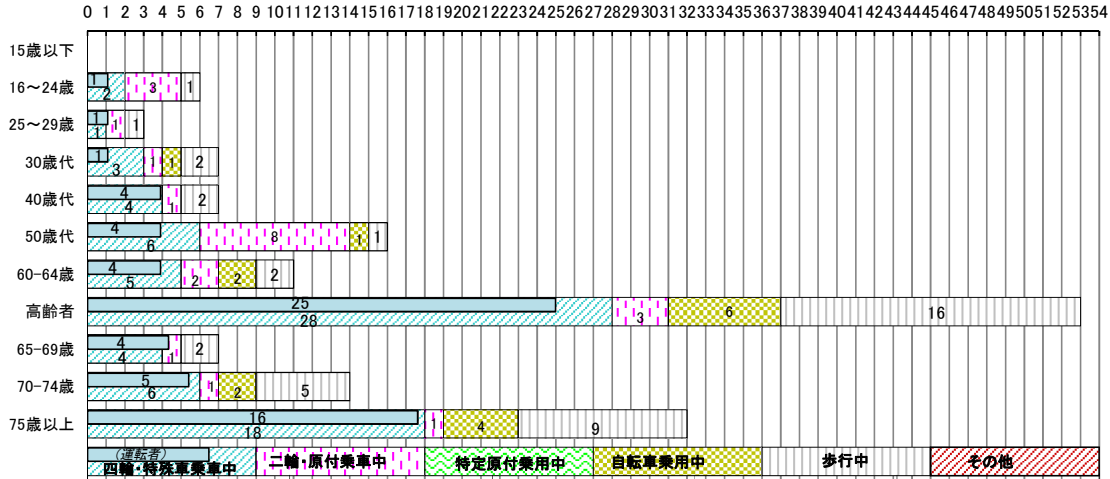
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	13	15	20	14	9	15	17	103
構成率(%)	12.6	14.6	19.4	13.6	8.7	14.6	16.5	100.0
過去5年構成率	20.0	12.7	14.3	12.5	13.5	12.7	14.1	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者数が53人(51.5%)、次いで50歳代の死者が16人(15.5%)となっている。

四輪乗車中の死者数が49人(47.6%)、次いで歩行中の死者数が25人(24.3%)となっている。

死者数(人)



状態別 年齢層別\		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (一般原付を含む)	特定原付 乗車中	自転車 乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
15歳以下	死者数									2.6
16～24歳	死者数	2	3			1		6	5.8	7.3
25～29歳	死者数	1	1			1		3	2.9	2.4
30歳代	死者数	3	1		1	2		7	6.8	5.7
40歳代	死者数	4	1			2		7	6.8	9.7
50歳代	死者数	6	8		1	1		16	15.5	13.5
60～64歳	死者数	5	2		2	2		11	10.7	6.7
高齢者	死者数	28	3		6	16		53	51.5	52.1
65～69歳	死者数	4	1			2		7	6.8	10.1
70～74歳	死者数	6	1		2	5		14	13.6	10.5
75歳以上	死者数	18	1		4	9		32	31.1	31.5
計	死者数	49	19		10	25		103	100.0	
	構成率	47.6	18.4		9.7	24.3		100.0	—	—
	過去5年構成率	47.7	16.2		6.9	28.9	0.4	100.0	—	—

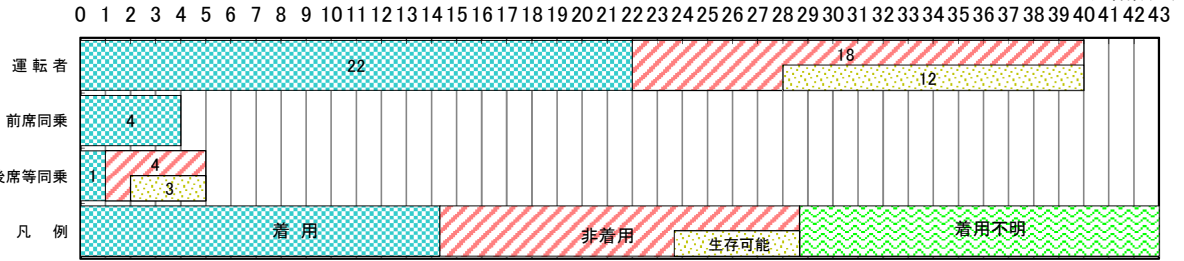
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者49人中、シートベルト非着用者は22人(44.9%)となっている。

非着用者の22人のうち15人(68.2%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪 乗車中 等	着 用					非 着 用					着 用 明
		計	同 乗 者			計	同乗者(助手席)			同乗者(後部席)		
			運転者	助手席	後部席		運 転 者	生存可	生存可		生存可	
令和7年	49	27	22	4	1	22	18	12		4	3	
構成率(%)	100.0	55.1	81.5	14.8	3.7	44.9	81.8	66.7		18.2	75.0	

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が15人(68.2%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
シート着用		1	2	3	5	3	13	2	4	7		27
構成率(%)		3.7	7.4	11.1	18.5	11.1	48.1	7.4	14.8	25.9		100.0
シート非着用	2		1	1	1	2	15	2	2	11		22
構成率(%)	9.1		4.5	4.5	4.5	9.1	68.2	9.1	9.1	50.0		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者22人の損傷加害部位をみるとハンドル、ドア・窓が各々5人(22.7%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
シート着用			6	2	1	3			4	2	7	2	27
構成率(%)			22.2	7.4	3.7	11.1			14.8	7.4	25.9	7.4	100.0
シート非着用	2	1	5	1		5		1	2	2		3	22
構成率(%)	9.1	4.5	22.7	4.5		22.7		4.5	9.1	9.1		13.6	100.0
運転者	2	1	5	1		3		1	2			3	18
構成率(%)	9.1	4.5	22.7	4.5		13.6		4.5	9.1			13.6	81.8
同乗者						2				2			4
構成率(%)						9.1			9.1				18.2

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用
の合計数に対する割合。